

社会福祉学科

社会福祉 専攻

科目名: カウンセリング基礎演習				担当教員 氏名: 石黒 真弓					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	前期	専門科目	演習	選択				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			心療内科や学校、施設でのカウンセリング経験を基に事例を検討します。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
カウンセリング基礎理論で身に付けた知識をロールプレイングなどで実際に体験します。					対人関係・受容				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 6. 7. 8. 10				
C 論理的思考力			知識を生かし、日常生活で起こりうる場面において活用できるよう道筋をたてて考えます。						
D 問題解決力			クライアントが抱える問題について、適切に関わり問題解決に努めます。						
F チームワーク・リーダーシップ			集団内での行動に着目し、集団内での自身の役割について考えます。						
G 倫理観			自らを律しつつ、人権尊重の倫理観に基づいて他者を理解する。						
H コミュニケーション力			言語および非言語でさまざまな人との人間関係を広めます。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	20 %	実技試験:	%	その他:	30 %
特記事項: 事例を基にカウンセリングをどう進めるか、様々な理論を基にグループで検討し理解を深めます。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:コメントを書いて返却します。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な時間(分)			
①自己理解、他者理解					「理解」とはどういうことか整理する		60分		
②カウンセリングテクニック1					2つの技法を使い分ける		60分		
③カウンセリングテクニック2					4つの技法を使い分ける		60分		
④カウンセリングテクニック3					6つの技法を使い分ける		60分		
⑤カウンセリングテクニック4					8つの技法を使い分ける		60分		
⑥演習1					各技法を説明できるようになる		60分		
⑦演習2					適切な技法を選び理由を考える		60分		
⑧個人カウンセリングと集団カウンセリング					集団カウンセリングについて個別とのちがいを整理		60分		
⑨グループエンカウンター1					エンカウンターの特徴をまとめる		60分		
⑩グループエンカウンター2					エンカウンターの目的をまとめる		60分		
⑪グループエンカウンター3					エンカウンターの効果をまとめる		60分		
⑫集団カウンセリング実施計画					計画をたて準備する		60分		
⑬集団カウンセリング計画発表1					計画通りだったかふり返る		60分		
⑭集団カウンセリング計画発表2					計画通りだったかふり返る		60分		
⑮まとめ					カウンセリングのながれを整理する		60分		
使用テキスト:					その他参考文献など: カウンセリングテクニック入門				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):									